管機連Daily News

2025年5月26日（月）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆4月の企業倒産が11年ぶり800件超―東京商エリサーチ

・東京商エリサーチは4月の企業倒産（負債1000万円以上）が828件（前年同月比5.7%増）、負債総額は1028億200万円（同9.3%減）だったと発表。倒産件数は4年連続で前年を上回り、800件超えは2014年の914件以来11年ぶり。負債総額は2カ月ぶりに1000億円を上回ったものの、4月では2年連続で前年を下回った。小規模倒産が目立った。

◆消費者物価指数、4月3.5%上昇　コメ類98.4%と過去最大の伸び

・総務省が発表した4月の消費者物価指数（CPI、2020年=100）は変動の大きい生鮮食品を除く総合が110.9となり、前年同月と比べて3.5%上昇。3月の3.2%を上回り、2カ月連続で伸び率が拡大。食料品の値上げなどが影響した。3%台の上昇率は5カ月連続で、上昇は44カ月連続。コメ類は98.4%上昇、比較可能な1971年1月以降で最大の上げ幅。

◆日本の食料インフレ8%で突出　コメが押し上げ、欧米は1～2%

・日本の食品価格の上昇率が先進国の中で突出して高くなっている。2025年は欧米各国が1～2%程度に収まるなか、日本は8%を超えた。コメの価格高騰や継続する食品の値上げが要因だ。生活に近い分野でインフレが続くことで、消費の回復に足かせとなる。消費者物価指数（CPI）は総合指数のうち食料が全体を1.86ポイント押し上げた。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆老朽水道管、光ファイバー網で監視　道路陥没防止へ総務省が開発支援

・総務省は既存の光ファイバー網をセンサー代わりに使って老朽水道管など地下インフラを監視する技術を開発する。道路陥没につながる空洞などを検知するほか、自然災害による不具合の場所もすぐに特定する。保守人材の不足を補い、トラブル時の復旧を早める。今夏にも開発を担う企業を採択し、2029年までの実用化を目指す。

◆武藤容治経産相「今夏の節電要請行わず」 2年連続で

・武藤容治経済産業相は「この夏は節電要請を行わない」と明らかに。要請をしないのは2年連続。電力供給の余力を示す予備率が安定供給に最低限必要な3%を上回り、7%以上になる見通しのため。火力発電所などの供給に余力があるものの、猛暑による需要の急増や、発電所のトラブルなどのリスクはありうると話した。

◆4月中古マンション価格、首都圏9カ月連続上昇　23区の格差顕著

・東京カンテイが発表した4月の首都圏における中古マンション70㎡あたりの平均価格は、前月比2.3%増の5535万円で、9カ月連続の上昇。東京都は2.6%増の8309万円と12カ月連続で上昇し、前年同月比の上昇率は30%台まで拡大。強含みや事例シェア拡大などで首都圏の価格をけん引。全都県で3カ月連続プラス。

≪　注目商品　≫

■TOTO、ウォシュレット一体形便器「GGA」

・ウォシュレット一体形便器「GG」をフルモデルチェンジし、清掃性に優れた新デザインと、環境配慮性能を進化させ、新たに「GGA」として8月1日に発売。コンパクトで清潔感のあるシンプルなデザインに進化。水を瞬間的に沸かして適温にする「瞬間式」を採用。

■TOTO、「ウォシュレットSS」

・ウォシュレット「S」「SB」をフルモデルチェンジし、清掃性に優れた新デザインと、環境配慮性能を進化させ、新たに「ウォシュレットSS」として8月1日に発売。水を瞬間的に沸かして適温にする「瞬間式」を採用、「ダブル保温便座」を搭載。

■LIXIL、上張りリフォーム用床材「リノバ うわばReフロア」

・既設の床材に貼るだけでリフォームすることが可能な厚さ1.8mmの上張り床材。耐水性の高い基材を採用、キッチンなどの水まわりのリフォームと合わせて床材を替えることができる。小型犬のすべりに配慮した防滑仕様で、床暖房にも対応。